

2022改定版

今月のテーマはなにかしら？



災害用伝言ダイヤル

伝言の録音方法

録音する場合は
①を押す

伝言の再生方法

聞く場合は
②を押す

「被災者」は自分の番号を、
「被災者以外」は被災者の電話番号（市外局番から）を
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ —伝言を吹き込めG・伝言を聞く（30秒以内）

117

災害発生時（豪雨・洪水など）に稼働するNTTの災害用伝言ダイヤルサービスです。

家族や友人が被災した場合の安否確認や連絡に役立ちます。

災害用伝言ダイヤル「117」に関するお問い合わせは、局番なしの「117」番、またはお近くのNTT支店・営業所窓口へ

チェック項目	
室内の安全	☐ 家具が転倒しないように対策をしている
	☐ 寝室や子供・高齢者の部屋に転倒しやすい家具を置いていない
	☐ 寝室にスリッパやくつを常備している
	☐ 感震ブレーカーを設置している
	☐ 住宅用火災警報器を設置している(乾電池等の確認)
	☐ 消火器を設置している
	☐ 本棚などの収納家具では、重いものを下にしている
	☐ ガラス飛散防止フィルムを貼っている
	☐ 食器棚などの扉が開かないように対策をしている
	☐ 照明器具の落下を防止している
	☐ 逃げ道となる廊下(通路)・玄関にモノを置いていない
	☐ ガスの元栓、ブレーカーの位置を確認している

チェック項目	
備蓄品	☐ 飲料水 * 一人当たり1日3リットルを3日以上 (賞味期限 年 月 日)
	☐ 非常食 * 缶詰、レトルト食品、カップ麺など3日以上 (賞味期限 年 月 日)
	<u>※備蓄食料については「ローリングストック」がおすすめです。</u>
	☐ 卓上カセットコンロ (予備のガスボンベ)
	☐ 紙皿、割り箸、紙コップ
	☐ ティッシュペーパー、トイレットペーパー
	☐ 毛布、タオルケット
	☐ 歯ブラシ ☐ 石鹸・シャンプー (水がいらないもの)
	☐ ラップ・アルミホイル
	☐ やかん、鍋 ☐ 簡易トイレセット ☐ ビニール袋
	☐ エ具類 (のこぎり、パール、スコップなど)
	☐ その他

※ローリングストック・・・普段から食べている食材を「備える」「食べる」「補充する」と繰り返す方法

4. 裏面の計画シートを使って、わが家の避難行動計画を作っておきましょう

(裏面へ)

いざというときに備え、家族の
避難行動を決めておきましょう！

わが家の避難行動計画

佐川町
2022改定版

1. 台風や大雨のとき

佐川町公式 LINE では防災行政無線で放送される内容をメッセージでお届けしています。

① 下のフロー図に沿って、わが家が避難すべきかどうか予め、判断してください。

災害種別	判断基準1	判断基準2	判断基準3	とるべき行動
風水害 土砂災害	① 自宅が山や急傾斜地 (がけ)のそばにある	② 自宅が土砂災害警戒 区域内である 又は 過去に土砂災害が発生 した記録がある 又は 土砂災害の不安がある	④ 自宅が2階建て以上の 頑丈な建物である 又は 頑丈な集合住宅(マン ションなど)の2階以上の 部屋である	YES → 自宅の2階で待機！ * 山から離れた部屋で待機しましょう。ただし、 危険を感じたら躊躇なく避難してください。
			NO → ⑤ 自宅が土砂災害からの危険が ないと判断される場合は、③へ	NO → 避難しましょう！
		③ 自宅が川の近くである 又は 浸水想定区域内である 又は 過去に床上浸水した記録 がある 又は 水害への不安がある	⑥ 自宅が2階建て以上の 頑丈な建物である 又は 頑丈な集合住宅(マン ションなど)の2階以上の 部屋である	YES → 自宅の2階で待機！ * ただし、自宅が川と隣接し、家屋が流される 危険がある場合は、躊躇なく避難してください。
			NO →	NO → 自宅待機！ * ご自宅がある程度災害に安全な場合は、気 象情報に注意して自宅待機しましょう。

・佐川町防災ハザードマップ
・土砂災害ハザードマップ
を確認！
※佐川町ホームページ参照

② そのとき家族は！？ (☑チェックして、避難先を書き込んでください。)

風水害時の行動	家族で決めた避難場所
☐ 避難する	☐ 避難場所名：() (例：自主防災組織で決めた避難場所) ☐ 避難する場所への手段：() (例：次女の子車) ☐ 避難場所までの時間：() (例：20分) その他()
☐ 自宅で待機する	※2階の部屋(山から遠い部屋)など、自宅の安全な場所で待機

佐川町指定緊急避難場所・
指定避難所は佐川町 HP に
掲載しています。

避難指示が出る前は？

避難指示が出る前でも、
風水害・土砂災害の危険を
感じたら、避難指示を待た
ずにすぐに避難行動を始め
ましょう。

2. 地震が発生したとき

① 地震だ！そのときどうする？ 地震発生時の避難は、最初の小さな揺れ(P波)のあと、大きな揺れ(S波)が来るまでが勝負です。普段から自宅に安全な空間を確保しておき、すぐ行動に移せるようシミュレーションしておきましょう。(☑チェックして、安全なスペースを決めておきましょう。)

地震の状況	家族で決めた自宅の安全な場所
初期微動(P波)から大 きな揺れ(S波)がおさま るまで (動ける間にできるだけ安全 な場所へ移動)	☐ ダイニングテーブルの下 ☐ 寝室(タンスなど倒れてくる家具がないこと) ☐ 玄関(ドアは開け放しておくこと) ☐ トイレ(ドアは開け放しておくこと) ☐ 広い庭(付近に建物や電柱などがないこと) ☐ その他()

外出中に地震！

外出先で地震に遭遇したとき
は、ブロック塀や電柱、がけなど
から離れ、広い場所で身を保護し
てください。
海岸付近にいた場合は、揺れが
おさまってから、津波に備えてた
だちに高台へ避難しましょう。
また、車を運転していたとき
は、ハンドルをしっかり握り、ゆ
っくり減速させて道路脇へ停車
し、エンジンを止めます。

② 揺れがおさまったからの行動と避難・・・揺れがおさまったら、左下の枠囲みの順で迅速に行動してください。また、佐川町での地震の場合、避難所へ無理に避難する必要はありません。右下の判断基準を参考に、生活の上で危険や支障がある場合に限って避難するようにしましょう。

揺れがおさまったら即行動！

- ① 自分や家族に怪我がないか確認
- ② 火元を確認、電気のブレーカーを落とす
- ③ 靴をはき、玄関のドアを開け出口を確保
- ④ 家屋や家まわりの安全確認
- ⑤ 隣近所の住民の安否を確認
- ⑥ 身体の不自由な方などの避難の手助け

揺れがおさまったからの避難判断基準	とるべき行動
① 自宅が倒壊したとき、又は倒壊の危険があるとき	避難しましょう！
② 近隣で火災が発生し、自宅まで延焼する危険があるとき	
③ 土砂崩れの危険が迫っているとき	
④ ドアや窓が壊れたり、室内が大きく損壊し、安全な生活が送れないとき	
⑤ 上記①～④の他、自宅で生活することに不安があるとき	
⑥ 上記①～⑤のような危険や支障がないとき	余震に気をつけて自宅 での生活を続けましょう

③ 地震で避難が必要となった時のために避難先を決めておきましょう。(☑チェックして、書き込んでください。)

家族で決めた 避難場所	
☐ 指定避難場所へ避難 (避難場所名：)	
☐ 指定避難所へ避難 (避難所名：)	
☐ 親戚(友人)宅へ避難 (連絡先：)	
☐ その他()	
※自宅等避難所外で避難をする場合でも、支援等が必要な方は指定避難所の避難者カードへ登録をお願いします。	
※自宅等避難所外避難をする場合でも、物資等の配給が必要な方は指定避難所の避難者カードへ登録をお願いします。	

地震時の指定避難所

地震で避難が必要となった場合は、それぞれの
地区に割り当てられた指定避難所へ避難す
るようになっています。また、重い持病や障害
のある方についても、一旦、一般の避難所に避
難してください。